

おおつる交流センター便り よろろえん No.55

令和3年10月14日
 大津留まちづくり
 協議会発行
 ☎080-7989-1497

お知らせ

24日(日) おおつるマーケット 開催

おおつるの人々④ 中尾地区 自治委員

首藤 光生さん(68歳)

大津留の地域づくりに関するご意見、ご要望「よろろえん」の感想等をお寄せください。

イノシシ撃退機『ほえるワン』(まち協考案)

まち協では、使用済みのスマホとアプリの組み合わせでイノシシ撃退機を考案しました。スマホには、アラーム機能がありますが、例えば、アラームを夜8時から1時間ごとに30分ずつ明け方まで鳴らすように設定します。この時の鳴らす音がポイントです。音楽やメロディでは効果がありません。猟犬の鳴き声や、イノシシが猟犬にかまれキューンと叫ぶ声などが効果的と思われる。アプリのボイスレコーダーで録音したり、著作権を侵害しない範囲で動画等から取得する方法があります。

実証実験では、犬の激しい鳴き声で設定しましたが、周囲での被害はなかったようです。実演機をおおつる交流センターに置いてありますので、ご覧いただき参考にして下さい。

*皆様からアイデアがあればお寄せください。大津留地区の農地を守る取り組みに繋がっていききたいと思えます。



大津留の竹細工を PR NO.2

庄内青竹細工 大分県は別府竹細工が有名ですが、由布市庄内町では別府竹細工とは異なり、職人自ら山で選り出された青竹を使い、道具としての竹かごが作られています。このたび、おおつる交流センターに作品を展示・販売するコーナーを設けました☆ お一人お一人の個性が光る作品ばかりです。是非、お手にとってご覧下さいませ!



先日、今後地域振興の仕事に関わりたいと思っている大学生が5名、おおつる交流センターに視察に見えました。まちづくり協議会としての活動や、大津留の事を聞き、竹の中の新米をお土産に持って帰られました。

後日、【県内の他のまち協さんとは違う屈指の組織や活動の充実ぶりをあらためて知ることが出来てよかったです】という、感想のメールを頂きました。今後、励みに頑張りたいと思います。

*裏面にマーケットのメニューがあります



大学を卒業後、63歳まで日鉄にお勤めし、その後3年間、他の仕事にも就き、昨年からは本格的に農業一本の生活になったそうです。よくお父様が「野菜づくりは草取りだ」と言っていたのが本当だったと実感中の日々... 楽しく農業をする『楽農』を目指していて、YouTubeを参考に楽しいを目指し、勉強しては試している所だそうです。昨年は猪にすべて食べられてしまった「トウモロコシ」に対策し、今年は成功したそうです。色々やってみては結果が出ることをとても楽しんでらっしゃいました。『苦労するのも楽しみの一つにしてやらない』と言っていたのがとても心に残りました。学生の時、29歳まで「ラリー」というスポーツをし、九州大会でベスト10に入ったそう。ドライブとナビに分かれるスポーツですが、光生さんは両方できる、二刀流で活躍したそうです。その後、野球を40歳まで楽しみ今はゴルフを楽しむ日々で、九州のコンペにも出場したそうです。結果は... 「もーめちゃくちやや」だったそうです笑